

ずいそう

私とパワースポット 私と建設業

都 恵 美



私のパワースポット巡りは、かれこれ17年になるうとしている。

そのスタートは、私が女性でありながら22歳の時に建設業へ飛び込んだことから始まった。

体を動かす事が大好きな私は、工場での単純作業やスーパーのレジ係、ましてや事務仕事などは性格的にどうしても合わない事が判っていたので、自分に妥協しないためにも周りの反対を押切って今の会社にお世話になった。

しかし、この男性社会、自分で選んだからと言っても周りはなかなか認めてくれない。

優しい先輩ばかりだったが、腫物に触るように接してこられるので、なかなか同僚という扱いはされず、ずっとひとり浮いてしまっている事に悩んだ。

そんな時何故か、ふと思立って京都に一人出掛けることにした。

「この仕事をやっていけるのか？」と悲鳴を上げかけている心を落ち着かせるために「京都の静かなお寺」と検索して教えられた「常寂光寺」^{じょうじやっこうじ}に迷わず向かった。そのお寺の名前にまず引き込まれたのだ。

それまでお寺参りなんて到底、縁のなかった私が(修学旅行で一度行ったきりで、初詣さえ行ったことがなかった)突然導かれるように出向いて行った事が、そもそも今思うと不思議なのだが。

そこは、紅葉が有名なお寺との事だったが、私が行ったのは9月の初旬でまだ紅葉には早かったものの、紅葉以上に眩しいばかりの一面緑の景色に、ぼかんと口を開けたまま立ち止まってしまっていた。

私は徳島県という自然豊かな土地で毎日を過ごしているが、こんなに自然に圧倒されたのは初めてであった。

そのお寺に一步踏み込んだだけで、私の悩みはとてもちっぽけなものになり、「さあ明日からも頑張ろう」という決意が、ほんの一瞬で自然にできてしまっていた。

その後、長い階段を上がり、振り返った景色はとて言葉に表しようもない最高の絶景だった。

それまで、大きな建設現場や、山の開発事業にも携わってきたが、突然それらがとても小さい世界に思え、「私自身が男性との境界を強く引いてしまっていた事」にも気付かされた。

常寂光寺にとどまったのは1時間少しという短い時間だったが、全身に不思議な力が漲ったのを感じ、その後はすべてをポジティブに考えている私自身に驚いた。

当時私は、パワースポットという言葉を知らなかったが、その時をきっかけにパワースポット巡りが唯一の楽しみとなり、今では1年に5か所以上は出かけている。

私のパワースポット巡りは「スピリチュアル」なものではなくて、ただただ自分を元気にさせてくれて、癒しをくれて、何より「自分回復」をさせてくれる大切なことになっている。

それといつも欠かさず忘れない事は、毎日大型ダンプトラックに乗ったり、大型重機を操縦したりしているので「怪我をしませんように！病気になるませんように！」というお祈りだ。

そのお蔭かどうかわからないが、今まで事故も病気もなく元気で頑張れている。



写真一 国土交通省のICT活用工事現場見学会にて①。大勢の皆さんに囲まれ様々な質問を受けて大変緊張しました



写真一 2 国土交通省の ICT 活用工事 現場見学会にて②

私の友人、知人には霊力や高いパワーを持った場所に無闇に行くべきではないなんて言う人もいるが、大きな御利益を望んでいるでもなく（宝くじに当たりますように！なんて事はお願いしているが…当たった事ありません）、ただ、忙しい毎日の中で唯一、自分の身体と心に向き合う場所として、時間がとれた時、パソコンで検索してヒットした場所へ、どこにでも出向いている。

忙しい現場では1日8時間、大型ダンプで走り続けている運転技量・体力もあるので（笑）、九州でも関東でも近いのだ。

この15年間で100箇所以上のパワースポットを巡ってきたが、まだまだ行ってみたい場所がたくさんあり、足腰が丈夫な間に屋久島にも、機会があれば海外にも是非行ってみたいと思っている。

「私とパワースポット 私と建設業」の旅はまだまだこれから先も、続けて行きたい。

追記

今月号が ICT の特集だとお聞きしたので、一言だけ皆様に。

一昨年・昨年とマシンガイダンスバックホウとマシンコントロールバックホウを操作させて頂く機会があり、最初戸惑いはあったが、短い時間で慣れる事ができてくると、とても楽しい機械である事がわかった。

私のような、単純な切土や積込作業しか経験のないオペレーターが、法面整形工等という、私の周りでも超ベテランしか与えて貰うことの出来ない重要任務に就く機会を与えてもらえた事、また、ゆっくりだが、仕上げる事ができたという自信と、楽しかったと言える仕事が出来たこと。これからの方々にお伝えしていきたいと思った。

今後ますます、建設 ICT の発展が、若い人たち・若い女性たちに広がっていく事を楽しみに願っている。

—みやこ えみ（株）大光建設—